

最も弱い立場にいる人々にも、  
自分の人生を変える**チカラ**がある。  
あなたは、それを変える**チカラ**を持っている。

CAREの活動を通して、自分の社会的責任や理論体系、行動が  
求められていることを知りました。CAREを通して自分自身と出会い、  
生きる目的を見つけました。

WALTER DEAN

これまで他人に依存してきた女性が、自分のために行動し、  
将来について考えています。

MADHURI GHOSH

私の望みは、娘が教育を受けることです。  
私のように自立してもらいたいです。

Gayatri Bera

CAREのおかげで、私は暗闇から抜け出し、  
村の男性と同じようにリーダーとなることができました。

Léocadie Mpongoreyeké

CAREのコミュニティ支援の方法は、スタッフや協力者が正しい解決法を  
見つけるまでの自由と時間を与えます。

Katharin Dyer

## CARE マンスリー・ギビング・プログラムのご案内

生きるチカラを信じて支える  
国際協力NGO  
CARE International Japan



## CAREとは Who is CARE?

CAREは、世界**70カ国**以上の途上国や紛争地域において、  
約**4,500万人**に対する支援を実施、世界**33万人**の人々に支えられ、  
年間**800億円**規模の事業を展開しています。

設立当初よりあらゆる宗教、政治に対して中立の立場を堅持しつつ、  
収入向上、教育、保健衛生、HIV/AIDS、農業、環境など、  
多岐にわたる分野の活動を通じて、  
最も弱い立場にいる人々の**自立**を包括的に支援しています。

また戦争や紛争、災害が生じた際には、  
世界各地の被災地でCAREはその**国際ネットワーク**を生かし、  
瞬時に緊急支援を開始。復興へと導きます。

**60年**を超える活動実績、そして高度な専門知識と経験をもった  
約**13,000人**のスタッフによる活動は、

コミュニティの人々のみならず

国連をはじめとする各種専門機関や支援国政府から

高い評価と信頼を受けています。

「CARE マンスリー・ギビング・プログラム」に関するお問い合わせ先

(財)ケア・インターナショナル ジャパン マーケティング部

〒171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷2-3-2

TEL:03-5950-1335 FAX:03-5950-1375

E-mail:monthly@careintjp.org Website:www.careintjp.org

途上国において最も不利な立場にいる人々の自立発展に向けてのCAREの支援活動は、中長期的な計画に基づき実施されています。これら多くの活動を安定的かつ効果的に進めるためには、皆さまの継続的な支援が必要です。

1,000円単位でご自由にお決めいただいた定額寄付金を毎月1回、ご指定の金融機関や郵便局の口座から自動的に引き落とすことで、継続的にCAREの活動をご支援いただけます(手数料免除)。途中での寄付額の変更やご寄付の停止もできますので、安心してプログラムにご参加ください。

※領収書は年1回、1月中旬～2月中旬に、前年1月～12月の受領分を一括して発行・送付いたします。

「CARE マンスリー・ギビング・プログラム」にご参加いただける方には・・・

世界各地で行われている支援活動についての最新情報やコミュニティの人々の生の声などを紹介した「CARE in Action」を随時お届けするとともに、年1回発行する「年次報告書」にてケア・インターナショナルジャパンの活動内容や運営状況について詳しくご報告します。

「生きるチカラは、支えて、支えられて、ひろがっていく。」

Why support CARE ?

たとえば**1日100円**のご寄付は、世界中にたくさんの笑顔を生みながら、**1年間**でこんな風に実を結びます。

CAREは、毎日、毎日、大切に積み重ねられたあなたの想いを、確実に途上国の人々のもとへ届けます。

【ベトナム】HIV / AIDS対策

移動・出稼ぎ労働者やコミュニティの人々52人に対し、HIV/AIDS予防のトレーニングを実施できます。



▶ HIV/AIDS感染リスクを未然に減らし、人々の健康や生活を守ります。

▶ エイズに対する正確な知識不足による偏見や差別をなくします。

【インドネシア】緊急支援

自然災害発生直後から1年間にわたり、被災者429人分の水浄化剤を届けることができます。



▶ 被災した人々が、生きるために必要な飲み水を安定的に確保できます。

【カンボジア】女子教育

貧しい家庭の女子34人が、1年間学校に通うことができます。



▶ 読み書きやライフスキルを身につけた女子は、自分の身を守り、未来を形づくることができます。

©Harsha De Silva

▶ 清潔な水は、下痢など水が原因の病気による死亡などの二次災害を防ぎます。

▶ 保健衛生や栄養などの知識を得、家庭やコミュニティに貢献する人材を育てます。